

「白鳥通信」第132号 令和7年3月19日（水）

最終号

「白鳥通信」は第132号が最終号です。平成31年4月10日から毎月10日・20日に発行してきたのも、毎号読んでくださる方も、校内はもとより校外で存在したからです。中には感想を寄せて下さる方、ファイルに毎号綴じ込んで良かっただと思える内にしようと、千葉日報、読賣新聞、日本経済新聞を始め、雑誌や本を読んで、次に何を書くか決めてきました。書くことが好きな私は、毎号それ程頭を悩ますことなく、むしろ楽しんで書いてきました。

校するのは失格だと苦言を呈したこともありました。その後、H・Pを読んできて校長室で話が盛り上がったこともあります。私は6年間、朝読、シエスタ、日本語検定、学び直しのマルチベーシック等に力をいれています。中でも「考える読書」と併せて日本語力向上のため1年生は「日本語検定」4級（中学校卒業程度）を全員受検、合格した人は3級（高校卒業程度）に挑戦してきました。検定の予備テストに「語彙力チェック」から出題してもらいました。これまで3年生でも合格が難しい3級に2年生が今度10名合格するという快挙を達成しました。お読みいただいた方に、心から感謝申し上げます。

- 四〇

- ① 「急に人気がでること」をいつ外来語はどれか。

- Ⓐラッシュコ　Ⓑダッシュコ　Ⓒペーパー<sup>②</sup>「坂おぐれで落ち着きのない人」は

- A での坊 B 風来坊 C きかん坊

- 『一風流人』の語句の中に「正にいのじ

- ## ○風雅な趣味に遊ぶ人

- しいのは次のどちらか。

- ぬるいじ

- 伏せたり飛ひ上かたりして様子を伺うこと

- ⑤「腹心」の説明として正しいのは次のどれか。

- A 腹の口心はある腹ノノモト  
B 心の底にある気持ち

- (解答) ①C②B③C④A⑤B